



あまくさ市議会だより

ツツジ咲く広瀬川河岸

毎年、春の広瀬川河口付近の両岸を彩るヨドガワツツジ。平成24年度には「第25回くまもと景観賞“水と緑の景観賞”」も受賞しています。

4月中旬のこの日は、満開の花に誘われ、天草あゆみ保育園の園児たちも散歩に訪れていました。



主な内容

- 平成28年度当初予算…………… P 4～5
- 委員会報告…………… P 6～7
- 政務活動報告…………… P 14～15

第16号

2016 5/15
(平成28年)

平成28年第1回定例会会期日程

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 2月22日 | 本会議／開会、施政方針、市長提出議案の上程及び説明 |
| 2月24日 | 当初予算説明会 |
| 2月26日 | 本会議／市長提出議案の質疑及び委員会付託 |
| 2月29日 | 市民生活委員会・建設経済委員会 |
| 3月 2日 | 総務政策委員会・教育厚生委員会 |
| 3月 4日 | 予算決算委員会（補正予算） |
| 3月7・8・10日 | 予算決算委員会（当初予算） |
| 3月14日 | 本会議／一般質問 |
| 3月15日 | 本会議／一般質問 |
| 3月16日 | 本会議／一般質問 |
| 3月18日 | 本会議／委員長報告・質疑・討論・採決、閉会 |

平成28年 第1回天草市議会（定例会）議案

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第1号	専決処分事項の報告について（交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。）	—	—
議第1号	天草市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（地方公務員災害補償法施行令の改正に伴い、傷病補償年金及び休業補償の額に乗じる調整率を変更するもの。）	総務政策	原案可決
議第2号	天草市議会議員に対する議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（国の人事院勧告及び県の人事委員会勧告を参考に、議員、市長、副市長、教育長及び病院事業管理者の期末手当を改定するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第3号	天草市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（国の人事院勧告及び県の人事委員会勧告を参考に、職員の給与等を改定するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第4号	天草市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について（国の人事院勧告及び県の人事委員会勧告を参考に、職員の退職手当等を改定するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第5号	天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（職員給与等の改定、県内各市との比較を踏まえ、非常勤職員の報酬等の見直しを行うため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第6号	天草市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（地方公務員法及び地方独立行政法人法の改正に伴い、人事行政の運営等の状況の公表事項の変更等を行うため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第7号	天草市職員の退職管理に関する条例の制定について（地方公務員法及び地方独立行政法人法の改正に伴い、退職管理の適正を確保するため、条例を制定するもの。）	総務政策	原案可決
議第8号	天草市表彰条例を廃止する条例の制定について（現在の本市の実情に合わせた取扱いができるよう規則に一本化するため、条例を廃止するもの。）	総務政策	原案可決
議第9号	天草市運動広場条例の一部を改正する条例の制定について（本渡東運動広場及び御所浦テニスコート場を廃止するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第10号	天草市武道場条例の一部を改正する条例の制定について（新和弓道場を廃止するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第11号	天草市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について（不当景品類及び不当表示防止法等の一部を改正する等の法律の公布に伴い、消費生活センターについて条例で定めなければならないため、条例を制定するもの。）	総務政策	原案可決
議第12号	天草市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び天草市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（介護保険法等に関係する基準の改正に伴い、小規模通所介護が地域密着型通所介護へ移行することから、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第13号	天草市税条例の一部を改正する条例の制定について（地方税法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、徴収猶予制度の一部が地方公共団体に条例委任されるため、条例を改正するもの。）	市民生活	原案可決
議第14号	天草市多目的集会所条例の一部を改正する条例の制定について（城河原多目的研修施設を廃止するため、条例を改正するもの。）	建設経済	原案可決
議第15号	天草市民センター条例及び天草市牛深総合センター条例の一部を改正する条例の制定について（指定管理者に公の施設の管理を行わせるため、条例を改正するもの。）	建設経済	原案可決
議第16号	天草市崎津集落ガイダンスセンター条例の制定について（公の施設を新たに設置するため、条例を制定するもの。）	建設経済	原案可決
議第17号	天草市建築審査会条例の一部を改正する条例の制定について（建築基準法の改正に伴い、審査会委員の任期を明記するため、条例を改正するもの。）	建設経済	原案可決
議第18号	天草市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（いわゆる建築物省エネ法が新たに施行されることに伴い、各種認定申請に係る手数料の額を定めるため、条例を改正するもの。）	建設経済	原案可決
議第19号	天草市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について（平成30年4月1日に、志柿小学校、本渡東小学校及び瀬戸小学校を統合して本渡東小学校を設置し、並びに大楠小学校、浦和小学校及び島子小学校を統合して新たに有明小学校を設置することに伴い、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第20号	天草市奨学生選考委員会条例の一部を改正する条例の制定について（天草市合併後10年を経過し奨学生選考の基準等が確立されたことに伴い、委員の定数を削減するため、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第21号	天草市教育振興審議会条例の制定について（第2期天草市教育振興基本計画を策定するにあたり、新たに審議会を設置するため、条例を制定するもの。）	教育厚生	原案可決
議第22号	天草市町民センター条例の一部を改正する条例の制定について（複数ある施設の名称を地区コミュニティセンターに一本化するため、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第23号	天草市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について（複数ある施設の名称を地区コミュニティセンターに一本化するため、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決

議案番号	件名	付託先	議決の結果
議第24号	天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定について（公益財団法人熊本市下水道技術センターと公益財団法人熊本市水道サービス公社が合併し、新たに公益財団法人熊本市上下水道サービス公社が設置されるため、条例を改正するもの。）	市民生活	原案可決
議第25号	第2次天草市総合計画基本構想及び前期基本計画の変更について（天草市総合計画の基本構想及び基本計画を変更するため、議会の議決を求めるもの。）	総務政策	原案可決
議第26号	天草市過疎地域自立促進計画（平成28年度～32年度）の策定について（天草市過疎地域自立促進計画を定めるため、議会の議決を求めるもの。）	総務政策	原案可決
議第27号から 議第44号	指定管理者の指定について（志柿地区コミュニティセンターほか18施設の指定管理者を指定するもの。）	総務政策	原案可決
議第45号から 議第58号	平成27年度天草市一般会計補正予算（第7号） 平成27年度天草市特別会計補正予算 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）など11件 平成27年度天草市企業会計補正予算 病院事業会計補正予算（第2号）など2件	予算決算	原案可決
議第59号から 議第72号	平成28年度天草市一般会計予算 平成28年度天草市特別会計予算 国民健康保険特別会計予算など10件 平成28年度天草市企業会計予算 病院事業会計予算など3件	予算決算	原案可決
議第73号	天草市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について（家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第74号	天草市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について（非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、条例を改正するもの。）（非常勤消防団員等の公務上の災害等に対する損害補償に関し、同一の事由により他の法律による年金たる給付が支給される場合における傷病補償年金及び休業補償の額に乗じる調整率の改定を行うもの。）	総務政策	原案可決
議第75号から 議第87号	農業委員会委員の任命について（鶴田雄士〔本渡町〕、黒川紀世子〔下浦町〕、富崎ますみ〔亀場町〕、中川 徹〔深海町〕、松下二六一〔久玉町〕、本田 実〔有明町〕、井島安一〔御所浦町〕、稲田秀敏〔倉岳町〕、宮崎義一〔栖本町〕、中村三千人〔新和町〕、山本隆久〔五和町〕、小堀田幸一〔天草町〕、嶋田浩二〔河浦町〕）	—	同 意
議員提出 第1号	世界遺産候補「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の推薦取り下げによる今後の取り組みと国内推薦に関する意見書の提出について	—	原案可決 意見書提出
議員提出 第2号	T P P 参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める意見書の提出について	—	原案可決 意見書提出
議員提出 第3号	奨学金制度の拡充等を求める意見書の提出について	—	原案可決 意見書提出

賛否表	
議第15号	天草市民センター条例及び天草市牛深総合センター条例の一部を改正する条例の制定について
議第59号	平成28年度天草市一般会計予算
議第60号	平成28年度天草市国民健康保険特別会計予算
請願第5号	「沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書」の採択を求める請願書（継続）
請願第6号	「戦争法の採決強行に抗議し法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書（継続）
議員提出第2号	T P P 参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める意見書の提出について

会 派 名		天 政 会							創 和 会			政友会	新風天草	日本共産党	市民クラブ	無 会 派							表 決 数	結 果					
議 案	議員名	本 田 武 志	脇 島 義 純	池 田 裕 之	中 村 三 千 人	勝 木 幸 生	宮 下 幸 一 郎	鶴 戸 継 啓	西 村 尚 武	鎗 光 秀 孝	松 江 雅 輝	船 辺 修	浜 崎 昭 臣	平 山 泰 司	古 賀 源 一 郎	濱 洲 大 心	蓮 池 良 正	浜 崎 義 昭	大 塚 基 生	益 田 政 昭	田 中 茂	中 尾 友 二			赤 木 武 男	若 山 敬 介	下 田 昇 一 郎	柴 田 誠	
	議第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	22：2	可 決
	議第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	22：2	可 決
	議第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	22：2	可 決
	請願第5号(継続)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	—	×	×	○	×	×	3：21	不採択
	請願第6号(継続)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	—	×	×	○	×	×	3：21	不採択
議員提出第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	19：5	可 決	

※起立採決を行ったものに限ります。（○は賛成、×は反対） ※田中茂議員は議長職のため、表決には加わりません。



御所浦定期航路運賃割引事業補助金

御所浦島民及び島民以外を対象とする定期航路を利用する全ての方を対象に、旅客運賃をバス運賃と同程度に軽減(約30%)するための補助金

5,323万円

コミュニティエフエム局設置事業

平成28年度～同29年度にかけて行うコミュニティエフエム局の設置に係る施設・設備等の整備に係る事業費

9,120万円

産地パワーアップ事業

地域農業再生協議会等が作成する「産地パワーアップ計画」に位置づけられた農業者等がデコポン屋根掛けハウス(低コスト型)を導入することに対する資材費及び施工費の助成を行う事業

7,846万円



水産資源回復・基盤整備事業

有害生物駆除委託料、イカ産卵施設設置委託料、藻場造成等資源回復工事等に係る事業費

3,290万円

(仮称)イルカセンター整備事業

観光の目玉である「イルカウォッチング」の拠点となる施設(仮称)イルカセンターの施設整備に係る実施設設計業務委託料等

2,575万円

英会話科推進事業

平成28年度から市内22校全ての小学校において、英会話科を創設し、英会話教育を実施するための事業費
1～2年生…年20時間
3～6年生…年35時間

1,205万円



生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)

6カ所の地域包括支援センターに生活支援等サービスの提供体制の構築に向けた生活支援コーディネーターを7名配置するための委託料等

2,406万円

臨時福祉給付金事業

【年金生活者等支援臨時福祉給付金】

●低所得の高齢者向けの給付金

平成27年度の臨時福祉給付金の対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる者

3万円×1万7,000人＝

5億1,000万円

●低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金

平成28年度の臨時福祉給付金の対象者のうち、障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している者(上記該当者を除く。)

3万円×1,100人＝**3,300万円**

【臨時福祉給付金】

市町村民税(均等割)が課税されていない者(市町村民税〔均等割〕が課税されている者の扶養親族等及び生活保護制度内で対応される被保護者等は除く。)

3,000円×2万7,000人＝

8,100万円

住宅リフォーム助成事業

個人所有で居住している住宅のリフォーム工事を行う場合、10万円以上の工事費(税抜)に対して、2/10(20万円)を上限に商品券による補助を行う事業

1億円

熊本天草幹線道路連絡街路整備事業

熊本天草幹線道路(第二瀬戸大橋)の整備に係る建物等報償費等

2億8,602万円

防災行政無線整備事業

国の政策によりアナログ波からデジタル波への移行が進められており、市民へ迅速かつ正確な災害予警報を伝達する体制を整備し、自然災害及び火災等から市民の生命、財産等を守ることを目的として一体的な運用(一斉放送等)ができるように整備を行い、インターネット、メール、Jアラート等の多様な情報手段との連携を図る。

また、平成29年度～同30年度事業において、希望世帯には戸別受信機を配布し、平時には行政区ごとの情報伝達に活用する。

平成28年度は、実施設計、施工監理業務、整備事業工事に係る事業費

9億1,162万円

総事業費

(平成27年度～同30年度)は、28億4,044万円

平成27年度 一般会計 補正予算の主なもの

補正額

5億3,460万円

補正後の総額

566億101万円

ふるさと応援寄附基金 積立金 運用利子収入及び寄附金の増 4,205万円	電算システム整備事業 情報システムセキュリティ強化対策に係るシステム整備等の事業費 7,951万円	「しごと創生」支援事業 (地方創生加速化交付金事業) 起業創業・事業規模拡大に取り組む者への支援に係る補助金 4,000万円
移住・定住促進対策事業 (地方創生加速化交付金事業) サポートセンターの設立に向けた移住・定住策に係る事業費 1,580万円	個人番号カード交付等 事務経費 マイナンバーカードの製造・発行等に係る負担金の増 1,472万円	魅力ある観光地域づくり 連携事業 (地方創生加速化交付金事業) 観光客受入体制の整備や天草ブランド化の推進等に係る事業費 3,260万円
地方バス路線運行維持 対策費 利用者減少とコスト高騰による損失補てんに係る補助金の増 2,475万円	担い手確保・経営強化 支援事業 中心経営体が行う農業機械等の導入に係る補助金 9,630万円	自転車を活用した天草の 観光促進事業 (地方創生加速化交付金事業) サイクリストの受入体制の整備等に係る事業費 100万円

平成28年度 当初予算

一般会計予算

524億9,368万円

特別会計予算

293億9,871万円

主な事業

本渡地域複合施設整備推進事業

中央図書館・中央保健センター・男女共同参画センター・本渡地区公民館・勤労青少年ホームを集約した複合施設整備に係る測量業務、地質調査業務委託料等

1,877万円

廃屋及び空き家等対策事業

一定の条件を満たした老朽危険空き家等の除去に対して、解体等に要する費用の1/2(50万円)を上限に補助を行う事業

2,000万円

地域情報化事業

【御所浦地域高速通信網整備】

御所浦地域振興策の一環として行うブロードバンド及びケーブルテレビ整備に係る工事費等

1億6,042万円

【携帯電話等エリア整備】

携帯電話の利用ができない天草町高浜地区北皿山地区について、民間事業者の協力を得て行う通信環境整備に係る工事費等

4,238万円



2月26日の本会議で付託された案件（条例26件、予算〔補正も含む〕28件、その他20件）を5つの常任委員会で審査しました。委員会審査における主な質疑とその答弁等についてご紹介します。

総務政策委員会

議第6号

天草市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例の制定について。

問 人事評価者訓練の実施状況について。

答 本市では、人事評価者研修を導入して3年が経過し、その間公平な評価の精度向上を行っている。今後は評価結果を、昇給、勤勉手当に反映させると共に、職員の研修会に合わせ、評価者である管理職の研修も充実させていく。

議第11号

天草市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について。

問 消費生活センターの業務内容について。

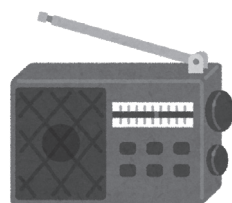
答 消費者トラブルに対しての市民の身近な窓口として、消費者トラブルに対する適切な助言・相談等を行い、その情報等を関係機関に提供し、被害の未然防止、拡大の防止に努めている。

議第26号

天草市過疎地域自立促進計画（平成28年度～32年度）の策定について。

問 コミュニティエフエム局の整備理由について。

答 防災無線の補完と地域コミュニティの醸成を目的に計画し、平成26年12月から3月にかけて周波数の調査を行い、九州総合通信局と協議を重ね、今年度より2カ年計画で実施する。



市民生活委員会

議第13号

天草市税条例の一部を改正する条例の制定について。

問 納税の猶予制度と、その申請要件について。

答 「徴収の猶予」と「換価の猶予」の2種類がある。いずれも納税について誠実な意思を有すると認められることを前提としている。「徴収の猶予」は、災害や病気、事業の廃止・休止などにより納税が困難になった場合に申請を行うことができる。「換価の猶予」は、直ちに換価するよりも猶予を

建設経済委員会

議第16号

天草市崎津集落ガイダンスセンター条例の制定について。

問 崎津集落ガイダンスセンターの規模・概要などについて。

答 木造平屋建てで、待合いロビーにおいて初めて崎津集落を訪れた人に地域の歴史的・文化的価値、集落へ入る上でのマナー、教会の拝観マナーを学んでもらうことを主たる業務とし、この他に観光案内や、みやげ品の販売コーナー、レンタルサイクル、多目的トイレを有し、道路情報コーナーなど道の駅の機能も兼ね備えている。設置後1年目は直営で運営し、管理経費や運営上の課題を整理した上で、平成29年度から指定管理へ移行したい。

議第44号

市営住宅の指定管理者の指定について。

問 指定先・条件などについて。

答 市営住宅の指定管理者を有限会社L.S.C.、有限会社天草企画及びOSAFUNE企画設計室で構成するL.S.Cグループに指定

を行う方が徴収上有利な場合や、事業の継続・生活の維持が困難な場合に行うことができる。
※換価とは：差し押さえた財産などを金銭にかえること。

今後進む状況にある。



問 子どもデイサービス事業について。

答 放課後児童健全育成事業の対象となる小学生が対象で、春休み、夏休みの長期休暇期間等に児童を受け入れる事業で、平成28年度は、有明地区、御所浦地区、宮地岳地区で実施予定。社会福祉協議会、地区振興会等に委託する。

問 いじめ問題対策連絡協議会と いじめ防止対策審議会のメンバーとその役割について。

答 連絡協議会は校長の代表、法務局の天草支局長、PTA連絡協議会会長等の14名から構成され、審議会は専門性のある方として、弁護士、医師、大学准教授、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーの5名で構成されている。

「特別・企業会計予算」

問 薬剤師の確保について。

答 大学や協会等が開催する就職活動セミナーに出向いての説明のほか、民間との給与格差を是正するために、平成27年度からは初任給調整手当を5万円から10万円に引き上げ、募集を行った。現在の勤務先の給与をベースに相談に応じるなど、さまざまな手立てで薬剤師の確保に努めている。

議第73号

天草市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

問 「保育士の配置基準」について。

答 これまでは、保育士の資格取得者が保育を行うべきところを、乳児が4名以上いる場合には、看護師1名は保育士とみなしてきた。今後は3歳から5歳児を保育する場合には、幼稚園教諭、小学校及び養護教諭も保育士とみなし保育が行えるようになる。

予算決算委員会

今回から議長を除く全議員において予算決算委員会を設置し、審査を行いました。

議第59号

「天草市一般会計予算」

問 ふるさと応援寄附金の寄附メニューで一番多いメニューと地域別寄附件数の内訳について。また、周知方法について。

答 現在5つのメニューでは、「市長おまかせコース」が1,339件、金額で約3,400万円と最も多い。地域別では、関東地域が1,869件で、近畿地域の636件、九州地域の580件である。周知方法については、「ふるさと会」等のほか、「ふるさと

問 強い農業づくり交付金について。

答 雇用創出型の次世代高生産性園芸施設の建設に対し補助する。事業主体は、天草地域トマト生産組合で面積80アール、実施場所は佐伊津町、河浦町、五和町のこと。

問 水産研究センターの業務内容や取り組みによる成果について。



問 放課後児童健全育成事業について。

答 平成27年度当初、市内13カ所の児童クラブに運営を委託している。また、保育所が自主的に行っている地域活動事業も受け皿となっている。本渡地域は受け皿が不足しているが、亀川小学校区に開設された児童クラブが送迎も行われるので、校区外の受け入れも、



一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行われます。今回の一般質問は3月14日から16日までの3日間で行い、12人の議員が質問に立ちました。掲載原稿は質問者本人が要約したものです。

番号	質問者	質問事項
1	濱洲 大心	① 崎津集落の世界遺産登録、再推薦に向けて ② 人口減少抑制と地域の高校とのつながり ③ 小学校の部活動、社会体育移行について ④ マイナバー制度への取り組みについて
2	赤木 武男	① 国民健康保険の医療費適正化に向けた取り組みについて ② 太陽光パネルの将来にわたる廃棄物処理について ③ 施設設備等に係る適正な設計業務委託料について ④ 小型無人機「ドローン」導入について
3	大塚 基生	① 総合計画と施政方針について
4	浜崎 昭臣	① 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産推薦取り下げと天草市の今後の対応について ② 新年度予算・商工費の内訳と関連事業について ③ 天草地域一般廃棄物処理施設の現況と今後の新施設の計画について
5	浜崎 義昭	① 施政方針と地方創生について
6	柴田 誠	① 子育て家族支援のネウボラについて ② 特定不妊治療・一般不妊治療について ③ 公園利活用について
7	益田 政昭	① チャレンジ基金について ② 牛深港周辺の開発について ③ 天草市の周辺部における交通手段について
8	下田昇一郎	① 学校教育の充実について ② スポーツの推進について ③ 組織力・職員力の向上について
9	西村 尚武	① 支所機能のあり方について ② 本庁舎建設について
10	本田 武志	① 平成28年度施政方針について問う
11	池田 裕之	① 世界遺産登録の経過と取り組みについて ② 防災行政無線について ③ 河浦高校閉校と跡地利用について
12	連池 良正	① 施政方針を聞いて ② 消防団員の確保 ③ おもてなしの実践 ④ 水俣病被害者救済

「かかりつけ医・薬局」に関する制度改正
小型無人機「ドローン」の導入について



赤木 武男 議員

「4月から変わる医療の値段」

赤木 4月から日常的な診療や情報提供を行う「かかりつけ」の医師、歯科医、薬局・薬剤師に対する制度改正が行われる。法改正に当たっては、外来診療における「患者登録制」導入の役割を担わせようと見てとれるが、現実には都市部に利便性があり、地方にはあまりなじまないのではないかな。

市民生活部長 高齢化が進む中、地域や自宅で医療や介護が受けられる「地域包括システム」を推進するため「かかりつけ」の医師や薬局に対して新たな診療報酬を設ける。制度改正により都市部では、門前薬局が身近にあるが、地方では少なく交通の便も悪く、高齢者にとっては負担となるケースもある。

赤木 ジェネリック医薬品の普及促進に向けた取り組みを伺う。

市民生活部長 ジェネリック希望カードや啓発チラシを全世帯に配布。また、後発医薬品を利用すれば負担軽減につながる対象者に対して、差額通知を年2回発行している。

赤木 保健師や看護師の訪問指導による、過度の受診抑制効果の現状に

ついて伺う。

市民生活部長 同一疾病で月3つ以上の医療機関を受診する重複受診者や、月15回以上受診する頻回受診者に対し、訪問指導を行う「重複・頻回受診者訪問事業」を平成26年度から取り組んでいる。

「小型無人機「ドローン」の導入を」

赤木 近年、甚大な被害をもたらす火山の噴火や台風、ゲリラ豪雨、地震などの自然災害や行方不明者の捜索など、広範囲に効率的な情報収集が可能でドローンの活用例が多く見られる。市も導入してはどうか。

市長 本市は面積が広く、切り立った海岸線や離島、深い山あいなど変化にとんだ地形でドローンの活用効果は大きいと思われる。また行政の中でも活用できる業務は大いにあり、平成28年度中の導入に向けて取り組む。



崎津集落、
世界遺産再推薦に向けて



濱洲 大心 議員

濱洲 世界遺産登録に向けて、平成27年度までに、どれくらいの予算を使ったのか。来訪者の推移は。

観光文化部長 平成19年度から平成27年度にかけて、8億4,343万円を使用している。来訪者の数は平成19年度、約2万4,000人。平成20年度、約3万5,000人。平成27年度は1月末で約7万4,000人。年々増加の傾向である。

濱洲 長崎の教会群の信者の中には、教会はお祈りの場であり、神聖な場所なので観光目的、商売目的に使わないで欲しいと言われる方もおられるが、世界遺産登録を望む主たる目的は何であるのか。

観光文化部長 崎津集落は文化資源、教育資源である。世界遺産に登録される事で歴史認識が深まり、次世代へも継承され地域振興に役立ち、結果、来訪者も増えて観光振興へつながっていくと考えている。

濱洲 世界遺産推薦の構成資産も今後、大幅な見直しが必要となってくると思うが、今後はどのような工程で取り組んでいかれるのか。

観光文化部長 国内推薦選考に立候補するために、3月末までに推薦書を提出する。その後も関係機関の助言を頂きながら推薦書の改定作業に取

り組み国内推薦を勝ち取るよう努力していく。

「市と地域の高校とのつながり」

濱洲 中学を卒業する生徒が、地元高校へ進学志望を持つように、高校の科再編など提言などできないか。

教育部長 天草地域の高校の特色ある学校づくりに必要であると考えている。

濱洲 市内に残る高校生に医療費免除や一部補助は考えられないか。

健康福祉部長 当分の間は中学3年生までの助成とし子育て支援の充実を図っていく。

「小学校部活動の社会体育移行は」

濱洲 平成30年に部活動が完全に社会体育に移行されるが現在の取組はどのような状況か。

教育部長 社会体育コーディネーターを配置し市内全小学校を訪問し部活動の実態把握や地域のクラブチーム等の視察を行っている。



教会群の世界遺産推薦
取り下げについて



浜崎 昭臣 議員

「一般廃棄物処理施設について」

浜崎 有明町に建設予定の「新ごみ処理施設」の完成年度は。

市長 平成34年度の供用開始を目標としている。

浜崎 「牛深し尿処理場」の具体的な計画を問う。

市民生活部長 平成29年度中に施設解体を行う計画。

浜崎 「牛深一般廃棄物最終処分場」の今後の計画をお尋ねする。

市民生活部長 地元の方々の意見を伺い、地域からの理解を経て納得のいく完了整備を行う。

浜崎 「牛深クリーンセンター」も6年後には廃止になる。新施設への持ち込みは現実不可能であるため、「牛深クリーンセンター」を中継施設としては是非検討して頂きたい。

市民生活部長

牛深地域住民の納得のいく方向で前向きに検討する。



牛深クリーンセンター

農業・水産・商業・地域振興・教育・生活環境・防犯について



浜崎 義昭
議員

浜崎 総合戦略（地方創生）は、地域の実態と要求を踏まえ、知恵を出し工夫もし、地域戦略をボトムアップ（下の者が色々な意見を出し合い物事を決めて広めていくこと）でつくり上げていくことが必要。そのためにも、住民の声・要望を述べる。農業の振興：基盤強化、農業機械の導入、農業施設の長寿命化を推進、これらを行うことで農業経営の負担増になるのではないかと考える。

経済部長 経営規模拡大や収益増につながる。

浜崎 水産業の振興：3月6日、崎津地区において水産物直売所がオープン、水産物直売所を他の地域でも開設を行うべき。

経済部長 漁協と一緒に検討を行っていく。

浜崎 新規就漁者支援制度：後継者対策にこそ力を入れるべき。

経済部長 関係者と支援体制を検討する。

浜崎 魚価安定価格の対策として一時的に保管し、出荷調整できる蓄養施設を要望。海を航行する者にとって命を守る光波標識の廃止が検討されている。天草市としてどのような対策を持っているか。

経済部長 関係者と支援・検討を行っていく。

浜崎 商業の振興：住宅リフォーム助成制度は引き続き実施し、店舗リ

フォーム助成制度へ拡充し、中心商店街の空き店舗の状況を調査し、漁協水揚げ所跡地（牛深）を含む利活用を行い、本渡銀天街などを含む都市計画事業と一体で行うべき。

経済部長 今後の検討課題と考える。

浜崎 老朽危険家屋：危険家屋の把握と対策。

経済部長 645棟ある。緊急措置として防護柵を設置。経費は所有者が負担し、判断時に請求。

浜崎 大学との連携：基幹産業（農業）を発展させるために専門大学との連携協定を行うべき。研究施設の誘致・研修を。

経済部長 長崎大学（水産学部）と協議を進めていく。水産講座・研修が期待できる。

浜崎 学校教育：平成28年度から市内全ての小学校「英会話科」を実施。将来に対する期待と不安から親の心理があるのも事実。子どもの発達に関する最近の研究は、幼児期の早すぎる知的刺激が生理的・精神的発達に深刻なトラブルを起こす可能性が明らかになっている。教育現場の体制は、整っているのか。小学一年から始めると保育園より英語教育を取り入れる競争が始まるのではないかと考えている。競争をおおるもの

とを考えていない。

教育部長 それほど大きな負担にならない。

チャレンジ基金について



益田 政昭
議員

益田 チャレンジ基金は市民の起業意欲を刺激し成果も上がっている。この基金を申請した方の企画書の審査方法がスタート当初と変わった部分は何か。

経済部長 事業性・市場性・独創性・継続発展性・資金計画などを審査し、①採択②熟慮を促す再考③不採択の3つで審査した。その後、地域資源の活用、外貨獲得、本市への経済貢献度を高くすべく採点方式で審査し、補助金の交付額に反映する方式に変更した。

益田 点数評価で補助額が変わると資金計画・事業計画が大きくかわる。その時のサポートはどうするのか。

経済部長 申請額が満額出ないケースもある。補助金ありきではなく、事業計画・資金計画を練り直すサポートをしていく。本人の事業に対する熱意や熟練度が重要だ。

益田 旧岡東漁協跡地の開発条件はどのような方法があるか。

経済部長 国の補助事業により県が整備した漁港施設用地のため、本来の目的以外の施設は建設できない。「完成漁港」として「漁港施設用地の有効利用通知」に基づく方法がある。

益田 漁協跡地の開発プランは地元

の意見重要視してほしい。プレジャーボート等が利用できる施設の整備計画はあるか。

市長 漁協跡地は牛深の中心部であり重要な場所だ。今の状態に危機感を覚える。自分の考えを早く表明し、将来に向けての地元の皆様の意見を期待する。

経済部長 現在プレジャーボート用の施設整備計画はない。熊本県・漁協との協議が必要。

益田 観光客の増加・経済交流活性化のためフェリーの一機体制を二機体制にするため、行政の補助はできないか。

市長 船の取得には十億の費用がかかる。また、運航にかかる経費を考えると実現は難しい。しかし本航路は南の玄関口として最重要航路であり離島航路運営費等の補助金の可能性を協議中だ。

益田 天草市の交通問題について

市長 天草市周辺部では、人口減少・高齢化が進行し、交通手段に困っている。地域に特化した交通手段「交通特区」「専用車配備」「買い物サポート券」を考えてはどうか。

地域振興部長 極端な交通不便地域には福祉タクシー券を年に最大48枚交付している。デマンドタクシーなど試験運行もおこなっている。特区や専用車配備・買い物サポート券は民間の動きも考え、今後協議していく。

子育て家族支援の天草市版 ネウボラ設置について



柴田 誠
議員

ネウボラとは：フィンランド語で「アドバイスを受ける場所」という意味がある。同国の「ネウボラ」を参考にし、妊娠から出産、子育てまで切れ目なく相談に応じ、支援する「子育て世代包括支援センター」は、厚労省によると全国で約150市区町村が独自に設置し、効果を上げている。

【ネウボラで検索】

柴田 天草市の子育て支援の状況、①専門職の人数②配偶者や家族へのアドバイス③母親からの相談体制④産後のケアについて。

健康増進課長 ①保健師14名、管理栄養士6名、栄養士・歯科衛生士・心理判定員、各1名、看護師9名、乳児訪問員2名。②妊娠中、育児中の支援に役に立つように「パパ手帳・孫育て手帳」の配布をしている。③電話相談、要望に応じ家庭訪問を行っている。④医療機関と連携を図り家庭訪問を行っている。

柴田 赤ちゃんの誕生を祝って「天草市赤ちゃんギフト」として、プレ

ゼントはできないか。（おむつ、おしゃぶり、母親のための母乳パッド、生理用品など）

健康増進課長 赤ちゃんギフトは個人的な好みもあるので考えていない。

柴田 子育て世代への経済的負担軽減、家族支援として、新生児の検査の費用を天草市で負担できないか。

市長 天草市の宝である子どもが健康に育つために平成28年度中の実施に向けて取り組む。

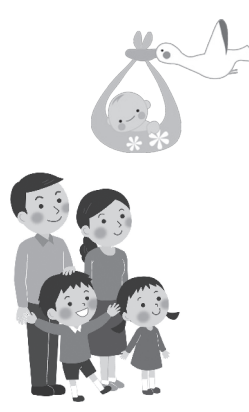
公園利活用について

柴田 公園遊具の安全性、事故の対応について。足ツボ健康ロードの設置はできないか。

建設部長 目視、触診など日常点検、定期点検を行っている。外観から確認できない点検は専門業者に依頼している。事故については市民総合保険に加入している。先進地の活用状況など図りながら対応する。

柴田 公園トイレの洋式化はできないのか。

建設部長 公園施設長寿命化対策支援事業に基づき意見を確認したうえで実施していく。



学校教育の充実について



下田 昇一郎
議員

下田 子どもの貧困率などが大きく取り上げられる中、学校給食は大変重要な役割を担っている。天草市全体の半数以上を賄う「本渡学校給食センター」。建物、設備共に老朽化が激しく一日も早い建て替えが望まれるが今後の展望は。

教育部長 建築後41年になる「本渡学校給食センター」は、市としてもできるだけ早く用地を選定し、建設に着手したいと考えている。

下田 学校施設の環境整備について、学校からの要望状況と、今後の対策について。

教育部長 本市の大半の校舎や体育館は、建築後30年以上経過している状況。上がってくる要望に対しては現地確認後に子どもたちの安全性を第一に考え、優先するものから順に進めている。また昨年以上がってきた要望の工事額は、概算で約12億円が見込まれ、実施した修繕及び工事額は7,834万円となる。

下田 要望に対しての実施額にこれだけの開きがあるのであれば安心して産み育てる環境とは言えない。この差が解消されるような抜本的な予算配分を含む舵取りをお願いする。

「スポーツの推進について」

下田 小学校運動部活動社会体育移行による指導者不足の解消や各種大会の誘致による交流人口の増加にも繋がる各小・中学校への可動式バスケットボールのゴール設置等の環境整備は出来ないか。

市長 ご提案の取り組みは一般からの指導者の協力をいただく環境づくりになると考える。今後は地域との協議の中で拠点施設と位置づける体育館においては計画的に施設環境整備を行っていく。



建築後40年を超え建物、設備共に老朽化が激しい「本渡学校給食センター」。

天草市全体の給食供給数7,391食中4,000食以上を賄う施設だけに1日も早い建設が望まれる。

支所機能のあり方・ 本庁舎建設について



平成28年度 施政方針について



西村 支所機能のあり方について。市内全域の一体的な発展のために拠点支所を。

市長 現在の各支所の状況は、行政区長等の方々に検証を実施した結果、「対応が早くなった」等の意見があった。現状、一般財源の大幅な減少が想定される中、効率的で、かつ効果的な行政運営が重要となっている。そこで、現在の支所の充実や市域のブロック化等、行政運営の組織化が必要であると考え。市域のゾーン化、拠点支所の配置については検討すべき重要性があると思う。



新庁舎イメージ図

【本庁舎建設について】

西村 本庁舎建設について。十分な機能を備えた本庁舎の建設を。

市長 マニフェストにおいて新庁舎の建設事業費を公示した時点から、毎年、労務単価が16・7%上昇しており、熊本県内の普通作業員単価においては20%も上昇しているようだ。また、建設資材においても上昇している。労務単価の引き上げや今後の社会情勢を考えると非常に厳しい状況だと認識している。今後の人口や職員数の減少を考慮して新庁舎の規模を大幅に縮小した。そのために、新庁舎建設後、一定期間は近隣の公共施設や支所の空きスペースを活用し、新庁舎に機能を集約していこうと考えている。しかし、市の本庁機能としては本庁集約型が本来あるべき姿だとも認識しており、できれば職員数に併せて10年ぐらいたを目標に、本庁機能を集約できればと考えている。

また、議員要望の「市の庁舎は防災拠点施設であり、市民サービスの中心施設である」。これは、市庁舎にとって最も重要な要件の一つで、そのことを踏まえて事業を進めていく。

世界遺産登録の経過と 取組について



池田 登録取り下げの伝達の中で「文化庁では、いくつかの対応策の中から、登録への最善・最短の手法を検討している」との答弁があった。他の世界遺産候補より少し優先権があると理解したが。文化庁も含め推薦書作成の判断違いがあったと思うが。長崎県では、長崎県民会議が組織され県全体での応援体制があるが熊本県の体制は充分か。

00万円を計上。予定価格は設計提案の点数の高かった企業体の見積もりを参考にした。地域放送は、地域で決めて欲しい。

【河浦高校について】

池田 登録取り下げの伝達の中で「文化庁では、いくつかの対応策の中から、登録への最善・最短の手法を検討している」との答弁があった。他の世界遺産候補より少し優先権があると理解したが。文化庁も含め推薦書作成の判断違いがあったと思うが。長崎県では、長崎県民会議が組織され県全体での応援体制があるが熊本県の体制は充分か。

池田 河浦高校は、河浦の3カ村による学校組合立一町田農業高等学校として発足している。町立高校としての愛着が強い。跡地利用の申し出は。優勝杯など支所等の空きスペースに保管したいが。

市長 跡地利用は地元要望があれば市として協力して行く。学校の歴史物は、保存すべきと考えているので市で管理も可能と考える。

【防災行政無線について】

池田 河浦有線放送を設置した経験から職員での機能や送受信装置を選定・施工管理するのは難しいと思うが。見積書と入札価格の差が大きい理由は。地域放送の内容は統一するの。

総務部長 施工管理業務は精通したコンサルに委託したい。予算3,0



平成28年度をもって閉校となる河浦高等学校

本田 今回の大雪による不知火（デコポン）の被害状況と寒害に対する屋根掛けハウスの有効性について、どのように認識しているか。また、倒壊ハウス復旧のためにも、本格的ハウス（連棟）への有利な補助制度が必要と思うが。

市長 市内で66件3億7,000万円の被害があつていて、寒害防止として屋根掛けハウスは、非常に有効と認識している。本格的なハウスへも、国の補助制度を利用し、有利な補助となるよう、事業採択に向けて取り組んでいる所である。

本田 天草ならではの広域観光ルートとは。また、天草市の玄関口として、リップランドへの看板設置など取り組みはないのか。

市長 「道の駅」を巡るルートを考えている。すでにあるリップランドや海彩館のほかに、崎津集落ガイドセンターや五和の仮称イルカセンターなどを整備し、全体では、7カ所程度の「道の駅」とし、観光の周遊性を高めたい。また、その起点としてのリップランドの看板設置に取り組む。



観光ルートの起点となる道の駅 有明「リップランド」

消防団員の確保 安心安全を支える役割



蓮池 各地域のまちづくりで、消防団はどういう意義をもって、どういう活動状況か。実際の火災では、先日も消火するまで相当の時間を要した。火災の原因説明や消火活動の検証等がされるが、火元の特定と広報の課題、消防水利の確保でも課題がある。いろんなところに消防水利を確保することを平時から考えておくことが大切。

【消防団員充足状況と努力方向】

蓮池 定数と実際の充足状況をお聞きする。地域人口が減少する中で、消防団員定数も弾力的に運用されて大丈夫か。少なくとも消防団の機能が維持できる人員確保が最低限の要か。

総務部長 地域の安心・安全を確保するために欠くことのできない組織。また、地域文化・伝承の継承や地域コミュニティの維持・振興にも大きな役割をもち、地域まちづくりの中心的存在。消防団は、火災や地震及び風水害等の災害時に備え、消防資機材の点検や方面隊ごとに全体訓練



総務部長 定数は、基本団員3,000人、機能別団員300人。今年1月末で充足率は、98・3%と52%。市職員の団員数は245人。積極的に勧めていきたい。定数は、合併時3,200人だったが、平成24年度に機能別団員制度導入し、定数改正した。協力事業所には50事業所登録。

天政会（本田武志・脇島義純・池田裕之・中村三千人・西村尚武・勝木幸生・宮下幸一郎）

西之表市 相続未登記農地の農地流動化 対策について

視察報告

全国的に相続未登記農地が農地流動化の阻害要因となっている。西之表市と農業委員会では、農業地帯のモデル地区として農地中間管理事業に選定し、利用集積活動を行った。親族過半数の同意で貸し付け可能な5年間の利用権設定で進め、農業委員会が「相続関係説明図」を作成した結果、総面積の「20%以上」を「地域集積」し、担い手に貸し付けた。

今後も同地区で5割以上の目標に地域集積を進めるとともに、他の地区でも同様の取り組みを進める方針である。

視察を終えて

「農地中間管理事業」は貸借の合意が必要である。相続未登記農地が虫くい状態が残ると「地域集積協力金」の対象となりにくい。今後、新しい農業委員会の取り組みが、大型の営農組織が設立される中、相続未登記農地の流動化へ向けて、積極的に取り組めるのか注視したい。

南種子町 種子島宇宙センターがもたらす観光効果と 宇宙留学の果たす役割について

視察報告

これまで、H2型ロケットが当センターより打ち上げられたのは本年2月17日「ひとみ」で30号機となった。その都度、数万人の観光客が技術の最先端を堪能するために上陸する。

発射台から3km離れた見学スペースは身動きが取れないほどの見学者で埋まってしまう。観光産業を中心にあらゆる波及効果がみられるのは言うまでもない。

また、宇宙留学は年間限定50人を、町内7小学校の複式学級防止対策で始めた。募集初日に70通以上の応募で締め切る人気ぶりである。国内に田舎・地方留学制度はあるが、宇宙留学という言葉の持つインパクトと魅力に心を踊らされる。また、その受け皿となる里親の受け入れ体制は万全を期している。

視察を終えて

種子島宇宙センターの進出が、少子化対策等の多様な事業に効果が見られるなど、島全体への波及効果をもたらしている。島にあるものを磨き上げることを優先して、現状に見合う環境整備に徹するなど、過度の整備を求めない姿は見習うべきと感じた。

天草本来の魅力や強みがどこにあるのかをもう一度見つめ直し、天草「宝島」の魅力を発信していきたい。



政友会（浜崎昭臣・平山泰司）、創和会（船辺 修）、柴田 誠

沖縄県宮古市（宮古島観光協会） 観光振興について

視察報告

毎年観光客は増加しているが、冬場は減少するとのことで、冬場対策でマラソンなどのイベントを開催しているとのことだった。特にマラソンは小学生にスタッフとして協力してもらうなど、オール宮古で頑張っている。外国人の観光客も年々増加しているので県の通訳士制度を活用し、地元で通訳士を募集し報酬を支払っているとのこと。今後は、教育旅行や、大学・社会人のスポーツキャンプの誘致に力を入れていきたいとのこと。

視察を終えて

天草市もオール天草でスポーツイベントに小学生に協力してもらうなどのボランティアや通訳の確保、修学旅行（教育旅行）の受入れにさまざまな分野の方と協議、計画していくことが必要である。



政友会視察

沖縄県那覇市 障がい者雇用及び求人支援について

視察報告

株式会社アイエスエフネットライフ沖縄（沖縄事業所）では、障がい者や就労困難者への就労支援をし、最終的に社会で自立するように目的を持って支援している。相手の強みを理解し、ご両親からヒントをもらい、いろいろな仕事を試し、可能性を広げ、そして訓練に時間をかけてやりがいのある仕事を目指して、ご両親の望む姿にしていきたいとのこと。

視察を終えて

天草市とアイエスエフネットグループは、昨年4月に「就労困難者雇用促進に関する協定」を締結し、障がい者やひきこもりの方、生活保護者など、働きたいのに働きづらい全ての人が働ける「ユニバーサル就労」実現に向けて取り組んでおり、去る4月8日に株式会社アイエスエフネットライフ天草が五和町旧御領鬼池小学校校舎内に開設された。

今後は、天草市でも就労できるように、就労環境等の整備などを市民、企業などに協力を求め、雇用創出につながるように協力していきたいと思った。



要望書を
提出しました！

天草市議会では、平成27年度に各種団体の皆さまと意見交換会を実施し、各種団体よりいただいた意見を集約し、平成28年3月18日に市長へ検討されるよう要望を行いました。

市民クラブ（大塚基生・益田政昭）

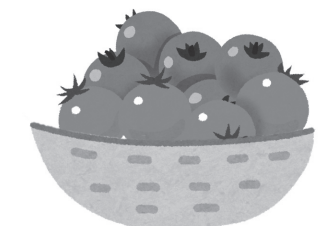
愛知県豊橋市 デンソートマト栽培プロファーム実証ハウス

視察報告

天草市の基幹産業である農業において、従事者の減少・高齢化といった問題がある。また、TPPなどを考えたとき、強い農業・儲かる農業を見据えた生産の効率化・安定化・付加価値の向上等を図る必要がある。

今回視察を行った(株)デンソーでは、種苗会社と共同でプロファームを活用した農業支援事業を行っており、今回はトマト栽培プロファーム実証ハウスを視察した。

このプロファームでは、ハウス設計から見直しを行い、太陽光を最大限に取り入れきめ細やかな温湿度管理を行うなど、環境制御技術と栽培技術を融合させ、トマトの収穫量日本一である60t/10aを目指した栽培が行われていた。



視察を終えて

県内でも八代や大津など2～3カ所でプロファームを導入した栽培が行われているが、施設建設費が10aあたり3,000万円～4,000万円と個人農家での取り組みには限界があると思われる。

しかしながら、農業生産法人を設立するなどして取り組み、生産流通・販売のコスト削減も可能になるなど、トマトの主力生産地として市場からの注目度も増し、天草農業の核となりうると感じた。

創和会（鎗光秀孝・松江雅輝・船辺 修）、新風天草（古賀源一郎・濱洲大心）、中尾友二

長崎県立五島高校「衛生看護科」 衛生看護科設置の経緯、効果と課題について

視察報告

天草市では市立病院4施設と看護学校1校を抱えており、今後の市立病院と看護学校との関わり方について、参考にするため視察を行った。

衛生看護科設置の経緯は、昭和48年に設置され、本年度で43年目を迎える。定員は各学年40名で、現在は、1年生25名・2年生30名・3年生20名で、各学年10名程度が島外から来ており、准看護師試験合格率は、ほぼ100%であるとのことであった。また県立高校で看護科があるのは、日本では奄美と五島だけである。

衛生看護科のメリットは、高校卒業と同時に准看の受験資格が得られ、短大や専門学校に進むことで、高校入学から最短の5年間で看護師国家資格を受験でき、長崎県・五島市・五島中央病院からの奨学金制度も利用できること。

課題としては、臨床のスタッフ自体が不足しているので実習先や看護教諭の確保が難しいとのことであった。

また、同校には、離島振興法の援助を受けて普通科スポーツコースが設けられ、各学年20名程度の枠で全国に公募しておられた。スポーツコースは、陸上・柔道・剣道があり各種大会でも好成績をおさめられた。



衛生看護科実習施設

視察を終えて

現在、本市の中学新卒者で看護師を目指す場合、ほとんどの生徒たちは島外、もしくは県外の看護コースのある高校へ進学しており、卒業後の市内への就職も少ないのが現状である。

市内の高校に看護コースを創設し、市立の看護専門学校や4つの市民病院とも連携を図ることができれば、前述したような現状が少しは改善するのではないかと思う。

また、看護コースやスポーツコースなど特色ある高校が市内にあれば、人口の流出にも歯止めがかかるとともに、人口の増加にもつながるのではないかと強く感じた。

天草の未来を担う 子どもたちからのメッセージ



天草工業高等学校 3年
河内 仁志さん

私は、有明町に生まれそして暮らしています。有明町には、リップランドと四郎ヶ浜があり、夏には熊本市内や県外からも多くの観光客がいらつします。しかし、冬場になると観

光客は激減してしまいます。そこで私は、冬でも観光客が訪れたいと思う天草にすることが活性化につながると思っています。冬にしか採れない作物や美味しい海産物、例えば、デコボンに代わる新たな柑橘類の開発や牡蠣小屋の設置などを支援し、全面的に宣伝していくことが必要なのではないかと思うのです。

次に、宿泊施設の充実です。天草には温泉も数多くあるので、リーズナブルな施設を増や

すことで集客力を高めることができるのではないのでしょうか。最後に、天草の渋滞緩和のために新たな橋の建設を望みます。そうした施策を打ち出すことによって、より多くの観光客を天草に呼び込み、仕事が増え、相乗効果として天草に移住したいと思う人も出てくると思うのです。結果、人が増えることによって、天草に活気が出てくるはずです。



天草高等学校 3年
石 揚 翔さん

私は、天草で生まれ、17年間天草で育ちました。現在高校では勉強はもちろん、陸上競技部に所属し、砲丸投げでインターハイ出場を目指し、日々頑張っています。天草というところは綺麗な海に囲まれ、気候もよ

く、とても住みやすいところだと思います。特に天草の刺身は私の大好きです。私は天草に対して故郷としての愛情があるので、将来天草に帰ってきて生涯を過ごしたいと考えています。

そんな大好きな天草ですが、現在、天草市の数多くの中学生が地元から離れた熊本市内の高校や、県内外の部活動の強豪校に進学しています。また、天草市内の高校に進学しても、大部分は卒業後天草市外の大学や短大、専門学校に進学しています。就職する高校生も多くは天

草市外に出て行ってしまいます。それは天草市内で進学する大が、就職できる職場が少ないからだと思います。市や市議会の皆さんには、天草の自然を生かしたレジャー、観光のPR活動や、大学、企業の誘致に積極的に取り組んでいただき、若者が外に出ていかなくても天草で就職、勉強、スポーツができる環境づくりを是非ともお願いしたいと思います。私も将来地元に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

平成28年熊本地震によって犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災されました皆様へお見舞い申し上げます。

天草市議会議員一同



天草市議会広報広聴委員会

中尾 友二
平山 泰司
濱洲 大心
柴田 誠
副委員長
委員長
濱洲 大心
宮下幸一郎
松江 雅輝
蓮池 良正
益田 政昭

編集後記

平成28年度、新たなスタート。出だし早々4月14日から16日にかけて大きな揺れが襲った熊本地震。多数の死傷者が発生し、その後も続く余震に多くの人々が不安な日々を過ごされ、大きな傷跡を残しました。

東日本大震災の時は、あまりにも大きい被害状況に驚き自然の猛威を思い知らされました。そして今回、身近で震災が起き自らも地震を体験し、一晩中揺れが続く不安な夜を過ごしたことで、改めて地震の怖さを実感しました。

まだまだ先の見えない状況ではありますが、私達に出来る事を考え、行動を起こしていかなければなりません。